

第 289 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 平成 26 年 6 月 12 日 (木) 13 時 30 分～17 時 15 分

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

(審議事項)

- (1) 2014 年 6 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) の報告
- (2) 欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 事業モデルに関するリサーチ・ペーパーへのコメント対応
- (3) 欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 持分法に関するリサーチ・ペーパーへのコメント対応
- (4) のれんに関する欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 及びイタリア会計基準設定主体 (OIC) との共同リサーチ・ペーパーの公表について
- (5) IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況
- (6) リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理等に関する実務上の取扱いについて

IV. 議事概要

(審議事項)

- (1) 2014 年 6 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) の報告

小賀坂副委員長及び関口常勤委員より、2014 年 6 月開催会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) の報告について説明がなされ、審議が行われた。

ASAF 会議は 2014 年 6 月 2 日、3 日にロンドンで開催され、今回の委員会では、当該会議における議題 (概念フレームワーク (収益と費用の報告及び測定基礎の選択、事業モデル、未履行契約)、開示に関する取組み、持分法、保険契約、マクロヘッジ、共通支配下の企業結合) ごとに、議論の概要、ASBJ の発言要旨等についての説明がなされ、審議が行われた。

- (2) 欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 事業モデルに関するリサーチ・ペーパーへのコメント対応

関口常勤委員より、2013 年 12 月に、欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) より公表されたリサーチ・ペーパー「財務諸表における事業モデルの役割」に対するコメントレター案について説明がなされ、審議の結果、EFRAG に提出することが了承された。

- (3) 欧州財務報告諮問グループ (EFRAG) 持分法に関するリサーチ・ペーパーへのコメント対応

関口常勤委員より、2014 年 1 月に、欧州財務報告助言グループ (EFRAG) より、ショート・ディスクッション・シリーズとして公表された「持分法：測定基礎なのか一行連結なのか」に対するコメントレター案について説明がなされ、審議の結果、EFRAG に提出することが了承された。

(4) のれんに関する欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）及びイタリア会計基準設定主体（OIC）との共同リサーチ・ペーパーの公表について

関口常勤委員より、のれんに関する欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）及びイタリア会計基準設定主体（OIC）との共同リサーチ・ペーパーの公表について説明がなされ、審議が行われた。

当委員会は、2012年より、EFRAG及びOIC等とともにのれんの会計処理及び開示についてリサーチを行っており、これまで、のれんの会計情報に関する有用性や実務上の課題に関する見解を得るために質問票を作成し、欧州関係者及び我が国関係者からの見解の聴取を行ってきた。その結果は、2013年に「フィードバック文書」として公表している。今般、EFRAG及びOICとともに、以下のアプローチに関する分析をまとめたディスカッション・ペーパーを公表することとなり、今回の委員会では、当該草案について審議が行われた。

①のれんに関する会計処理の変更（償却及び減損アプローチの再導入を含む。）

②減損テストの改善

③開示要求の改善

今後、EFRAGやOICにおける検討も踏まえ、一定の修正を行った上で、公表することを予定している。

(5) IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況

小賀坂副委員長及び紙谷ディレクターより、IFRSのエンドースメントに関する作業部会における検討状況について説明がなされ、審議が行われた。

具体的には、第14回IFRSのエンドースメントに関する作業部会（2014年6月9日開催）における検討状況を踏まえ、仮にのれんの非償却、リサイクリング及び当期純利益について「削除又は修正」を行うとした場合の取扱いを例として、公開草案の公表に向けて、会計基準の様式や内容等について審議が行われた。

(6) リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理等に関する実務上の取扱いについて

小賀坂副委員長及び神谷シニア・プロジェクト・マネージャーより、リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理等に関する実務上の取扱いについて説明がなされ、審議が行われた。

2014年3月7日に公表した実務対応報告公開草案第40号「リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームにおける借手の会計処理等に関する実務上の取扱い（案）」に対するコメント期間は2014年5月7日に締め切れ、5通のコメントレターが寄せられた。今回の委員会では、第288回企業会計基準委員会（2014年5月29日開催）での議論の内容を踏まえ、寄せられたコメントへの対応について、審議が行われた。

以 上